



村小だより

平成29年4月13日発行

教育目標「自治三訣」を目指して ～子どもも職員も～

校長 鈴木 正美

桜の開花に先駆けて、村上小学校の平成29年度第1学期が始まりました。新入生46名を含む子どもたち264名(昨年度比+5名)と教職員43名でのスタートとなりました。この一年、学校や地域を舞台に、感動あふれるどんなドラマが展開されるのか、大きな期待がふくらみます。

昨年同様、4月6日の始業式には教育目標「人のお世話にならぬよう 人のお世話をするよう そしてむくいを求めぬよう」(自治三訣)について、それぞれ次のように子どもたちに説明しました。

- 「人に迷惑をかけず自分のできることを精一杯がんばる自分になること。」
- 「困っている人がいたら、一緒に手伝ったり、助けてあげたりするなど、思いやりのある優しい気持ちで人に接することができる自分なること。」
- 「人のお世話をするとき、自分の損得で判断せず、みんなのために様々な活動に協力する自分になること。」

全校で教育目標のような自分になることを目指して、それぞれの学年に応じた具体的な目標やめあてを立てて、一人一人努力してほしいという校長としての願いを伝えました。子どもたちも、真剣に聞いてくれました。

私たちが4月3日の初顔合わせで、全職員で「心のこもった、あたたかい教育」をモットーに、次の三つのことを心に刻み、村小職員の心得としました。私たちも

1 「学校は子どものためにある」

子どもは地域の宝です。子どもがいるから村上小学校があります。いつも、どんなときも「村小の子ども」一人一人を大切にできる学校、子どもに寄り添い、支え、鍛え、生きる力を育てる学校でなければなりません。

2 「学校の教育活動の中核は授業である」

目指す子どもに迫るために、「子どもたちが自ら学び、共に高め合い、力を付ける授業」を創造することが教員の使命です。そのために、自己の力量アップに努めなければなりません。授業をもたない職種の方々であろうとも、その務めは教育活動の中核を支えることに必ず繋がっています。

3 「真摯で、謙虚なわたしたちでありたい」

一言でいえば、「させてもらっている」意識をもつことです。学校教育は、子どもや保護者、地域のための仕事であるという意識で取り組むことが大切です。

教育目標のような教職員組織(チーム村小)を目指します。

平成29年度もこれまで同様、保護者、地域の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

◎ 平成29年度の児童数を紹介いたします。今年度は、3, 4年生が単学級編制となりました。(男子132名 女子132名 合計264名)

組	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1組	23	24	36	41	26	21
2組	23	23			26	21
合計	46	47			52	42

※合計にはハートフル在籍児童が含まれています。

